

平成28年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）（変更後）

(単位:千円)

地方公共団体名	本部町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		31,200,000	400,000	373,622	26,378	400,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考							
					年	月		年	月	A	B	C			負担額			G			
															交付金交付額				D	E	F
															沖縄県	市町村	その他				
合 計								528,764	500,011	400,000	0	100,011	0	28,753							
1	本部町観光拠点形成事業	平成14年の美ら海水族館の開館を機に、多くの観光客が訪れる本部町。いまや年間約430万人の来場者が海洋博記念公園に足を運んでいる。「太陽と海と緑・観光文化のまち」を掲げている本町として、観光資源を今一度見直し、また新たな観光の拠点となる資源を開発することで、着地型観光としての商品化を図り、多くのお客様に対して満足していただける観光のまちづくりを目指す。	イ	10	24	7	34	3	338,046	338,046	270,432	0	67,614	0	0	3	3	(2)			
①	花いっぱい運動の推進事業	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	イ	10	24	7	34	3	11,302	11,302	9,040	0	2,262	0	0	3	3	(2)	ウ		
②	ハブ咬傷防止事業	台湾ンハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	イ	9	25	7	34	3	7,980	7,980	6,384	0	1,596	0	0	3	3	(2)	ウ	第2回目交付決定変更（事業費増額）	
③	伝統興行観光化事業	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	イ	4	25	6	29	3	42,840	42,840	34,272	0	8,568	0	0	3	1	(5)	ア	第1回目交付決定変更（事業費増額）	

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費					振興計画該当箇所	備考							
					年	月	年	月	交付対象事業費					交付対象外経費						
									A	B	C				負担額					
															D	E	F	G		
④	本部町2大まつり事業	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	イ	4	25	6	29	3	26,666	26,666	21,332	0	5,334	0	0	3	3	(2)	ウ	第2回目交付決定変更(事業費増額)
⑤	本部町フクギ集落整備事業	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	イ	5	25	8	30	3	70,848	70,848	56,678	0	14,170	0	0	3	1	(6)	ア	
⑥	八重岳観光拠点整備事業	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	イ	5	25	7	30	3	131,686	131,686	105,348	0	26,338	0	0	3	3	(2)	ウ	
⑦	観光漁業実証調査事業	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	イ	4	26	7	30	3	8,208	8,208	6,566	0	1,642	0	0	5	3	(1)	イ	
⑧	観光地安全対策事業	本町には、県内最大の観光施設である沖縄美ら海水族館があり、県内外から年間430万人もの観光客が訪れており、安心安全な観光地づくりが課題となっている。そこで、本町の主要道路に防犯カメラを設置し、安心安全な観光地づくりを図る。	イ	2	27	12	29	3	6,513	6,513	5,210	0	1,303	0	0	3	3	(2)	ウ	
⑨	渡久地港駐車場整備事業	本部町の水納島へ渡る航路が発着する渡久地港の旅客ターミナル及びその周辺には駐車スペースが少なく、水納島を訪れる観光客に不便を強いていることから、観光客等の利便性向上させるため駐車場を整備する。	イ	3	28	8	31	3	6,715	6,715	5,372	0	1,343	0	0	3	3	(2)	ウ	第2回目交付決定変更(事業追加)

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所			備考				
					年	月		年	月	A	B	C		負担額				G	章	節	項目
														D	E	F					
⑩	観光案内情報板整備事業	本部町では、地域の特色を生かした様々なイベントが開催されており、イベント等の周知は、ホームページ、広報誌、新聞折り込み等を活用しているが、観光客に十分周知できていない状況である。また、台風襲来時の注意喚起や交通機関の運行状況、イベント中止の情報なども伝達しなければならない。そこで、観光客にイベント等を周知するため観光案内情報板を整備する。	イ	2	28	8	30	3	25,288	25,288	20,230	0	5,058	0	0	3	3	(2)	ウ	第2回目交付決定変更(事業追加)	
2	本部町亜熱帯農業生産体制強化事業	農業生産の拡大を図るため、農業用機械を整備し生産基盤の強化を図る。また、台風などの自然災害に強い農業生産施設の整備を営農活動の安定化を図る。また、優良母牛の購入補助を行いブランド化につなげる。	ハ	6	24	9	30	3	82,488	55,810	44,647	0	11,163	0	26,678	3	3	(7)			
①	園芸農業防災施設整備事業	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ハ	5	24	10	29	3	24,973	22,476	17,980	0	4,496	0	2,497	3	3	(7)	7		
②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	ハ	5	25	6	30	3	43,100	21,550	17,240	0	4,310	0	21,550	3	3	(7)	7		
③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	特産品生産者及び事業者の経営の安定化と産業の発展を図るため、販売支援員の配置、物産展等への出展など、本部町の地域の特性を活かした特産品の販路拡大を支援する。	ハ	6	28	5	34	3	14,415	11,784	9,427	0	2,357	0	2,631	3	3	(7)	イ	新規第1回目交付決定変更(事業追加) 第2回目交付決定変更(事業費増額)	
3	① モトブンチュ人材育成事業	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	リ	5	25	6	30	3	5,526	4,973	3,978	0	995	0	553	5	1	(1)			
4	本部町教育環境整備事業	将来の沖縄振興を担う子供たちに対し学力向上の支援を行う。町内の小・中学校に学習支援員を配置し、主要教科において「授業支援」を行う。 また、短期留学事業を行い異文化に接する機会の提供や、音楽イベント等を通じた地域との交流を行い、人と人とのつながりを通して健やかな青少年の育成を目指す。	チ	8	26	4	34	3	91,443	90,243	72,193	0	18,050	0	1,200	3	5	(1)			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業		総事業費					振興計画該当箇所				備考				
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費	振興計画									
							年	月	年		月	A	B	C	負担額			D	E	F
					沖繩県	市町村				その他					章		節			
①	本部町学力向上学習支援事業	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	チ	8	26	4	34	3	35,521	35,521	28,416	0	7,105	0	0	3	5	(3)	7	第2回目交付決定変更（事業費増額）
②	本部っ子短期留学チャレンジ事業	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	ハ	7	27	4	34	3	6,000	4,800	3,840	0	960	0	1,200	3	4	(1)	イ	
③	学校ICT機器整備事業	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力及び情報活用能力の向上を図るため、町内小中学校のICT環境整備（全教室の無線LAN整備、タブレットPC等の導入）及びICT活用支援員を配置し、ICT機器の活用によるICT教育の推進を通じ、児童生徒の学力及び情報活用能力の定着、向上を図る。	チ	3	28	4	31	3	12,528	12,528	10,022	0	2,506	0	0	3	5	(3)	7	新規
④	特別支援教育環境充実事業	教育の振興を図るため、特別な支援を要する幼児児童生徒（心身の障害及び発達障害）に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切に必要な支援を行う。特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、担任教師・教諭との連携による特別支援教育環境の向上、充実を推進する。	チ	6	28	4	34	3	37,394	37,394	29,915	0	7,479	0	0	3	5	(3)	ウ	新規 第2回目交付決定変更（事業費増額）
5	① 赤土流出防止検討調査事業	本町をはじめ沖縄県内で以前から問題とされてきている海洋への土壌流出について、本町内での発生源調査や、その発生源に対する土壌面の被覆、ほ場等周辺へのグリーンベルトの植栽配置及び流出源となる河川堆積土砂の浚渫、フィルター材の設置など、流出面から河川へ至る線への対策を実施することで赤土の流出抑制を図る。	レ	7	24	10	31	3	6,786	6,786	5,428	0	1,358	0	0	3	1	(1)	イ	
6	① 世界のムトブンチュ大会実施事業	本部町出身海外移住者とのネットワークの発展のため、世界ウチナーンチュ大会の実施と同時期に移住者やその子弟などと本部町民との親善交流会（世界のムトブンチュ大会）を実施する。	カ	6	28	5	34	3	4,475	4,153	3,322	0	831	0	322	3	4	(1)	7	新規 第1回目交付決定変更（事業追加）

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。